

25

3-3008

0169

通
15.3.11

通商局

第一課

機密第二回號

大正十五年三月一日

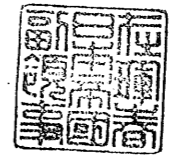
綴込名 鈴木總領事

大正十五年三月五日記録係接受

3
14
項目
號

務直男爵 中喜重郎 殿

在 彈春
副領事 田中正



通商局第一課

大正十五年三月一日 機密 第三口 辨寫送付

鈴木總領事 宛

外務省文書課
機密 15.3.11

隣接國境隣接地域^{件名}の收獲物又ハ生産品鮮肉
輸入税免除取扱方變更ニ関スル件

機密公領第三〇號

大正十五年三月一日

在豫春

副領事 田中正一

在閩島

總領事 鈴木要太郎 殿

隣接國境隣接区域内ノ收穫物又ハ生産品
鮮ノ輸入税免除取扱方變更ニ関スル件

從來當地方國境ニ里以内ノ住民(日鮮支人共)カ其
地域内ニ於テ收穫シ又ハ生産シタル物品ヲ鮮
内ニ輸入スル場合ハ大正九年法律第五十三條ニ
關

税法関稅定率法保稅倉庫法及假置場法等
ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ関スル件 第六條ノニ
(朝鮮總督ノ定ハル隣接國境隣接区域内ノ住民カ其地域内ニ
於テ收穫又ハ生産シタル物品ニシテ自ラ輸出又ハ輸入スルモノ
及第七條(前條ノ規定ニ依リ輸送又ハ輸入スル物品ニ
件テハ関稅法ヲ適用セズ)ニ依リ免稅取扱ヲ受ケ
來リタル處ニ法令ノ解釋及取扱方ニ關シ
仁川税関長及朝鮮總督府財務當局ニ於
テハ互法ノ主意カ狭義ノモノナレハ出來得
ル限リ狭義ニ解シ越シ耕作ニコル少量ノ
物資ニ對シテノ適用スルコトニ意見略一致
シ其取扱根變更方ニ係リ向ハ内達セラレタル
趣ナリ從テ今後ハ朝鮮側ニ里以内ノ地ニ

住居ヲ有シ對岸國境ニ里以内ノ地域ニ於テ
自ラ收穫生産シ自ラ輸入スルモノニ限リ（朝鮮
及支那地ニ里以内ノ兩地ニ居住シ有シ往復耕作スルモノヲ
含ム由ナリ）免稅取扱ヲ受ケ其他ノ場合例ハ朝鮮
ヨリ國境ニ里以内ノ支那地ニ移住シタル鮮人及該
地域ニ居住スル支那人ニ依リ生産輸入セラルモノニ
對シテハ免稅ノ認定ヲ與ヘタルコトナレリ本件免
稅取扱ノ特典ハ當館管内ニ於テハ大正十一年以
降實施セラレ在留鮮農ノ利益保護ノ見地ヨリ揮
春思頂不兩鮮人氏會ハ毎年精密ナル調査ヲ遂
ケタルニ鮮支人タルヲ問ハズ該地域ヨリ收穫セラ
レタル大豆等ニ對シ免稅取扱ヲ受クヘキ當該
物品タルコトヲ証明シテ往民ヲシテ其特典ヲ

享受セシメ管内殊ニ黒頂不民會内ノ如キハ
之レニ依リテ民會施設モ都合好ク運用セラ
レ支那側トモ折合コトヲ為メニ在留鮮人ノ福祉
モ増進セラレテ其成績益々良好ニ向ヒタルコト
ハ御承悉ノ通りニシテ管内ヲ通シ例年少ク
トモ約二萬石ノ輸出入大豆ハコレニ屬シ其免稅額
（三萬圓）遠シ居ル次第ホリ然ルニ今後朝鮮側ニ
於テ前記ノ通り狹義ノ解釋ニ依リ嚴格ニ取扱フコト
トモナラハ實際ニ其特典ヲ受クルモノ極メテ少ク在留
鮮農及民會ノ受クル打撃不尠ノミナラス更ニテハ
當地方輸出品ノ大宗タル大豆ノ如キ動スレハ露領方
面ニ亦廻リ當地對朝鮮ノ貿易ノ現状ヲ逆轉セシ
ムルノ虞ナキヲ保セスト被考慮一方本件ハ從來ノ

取扱ニ依レハ不正支那商ニ利用セラル結果ヲ誘
致シ朝鮮側ノ関稅收入ニモ影響スル政策ナレバ畢
ニ當地ノ在留鮮農又ハ民會ノ利益ノミニ執着
シテ議論スヘキモノニアラズト被考ニ付キ其利害
得失ヲ彼此研究ノ上對策ヲ考究スヘキモノナリ但
當地民會長ハ本官ヲ未訪シテ本件ニ談及シ民
會トシテハ重大問題ナルヲ故ニ今後ニ成行如何
ニ依リテハ黒頂子民會ト連絡シテ京城ニ委員ヲ
派遣シ從來通り取扱方請願運動スル所存ナ
リト認リタルニ本官ハ叙上ノ意見ヲ略述シテ
領事館トシテノ確定意見發表ヲ差控ヘ置
キタリ尚本件ニ関スル能堂稅関出張所主任ヨ
リ當地民會長ニ宛テタル書信寫別紙御參

考迄添付ス

右申報ス

本信寫送件先

外務大臣

黒頂子分署長

寫

大正十五年二月十七日

龍堂税關出張所

渡邊静夫

李昌來殿

其後は意外に御無香に打過き申課
無御座候時下餘寒の候如何御凌き
に候哉御伺申上候降て小生申御
陰様にて元氣にて暮り候間乍他
事御安心被下度候
扱て過般仁川税關より西川税務課長
當地方へ出張去り十三日當所へ来所被

為免稅品の取扱方に就き詳細調査せし
其の際大正九年法律第百五十三號(免稅品)件
の解釋及取扱方に関しは當税関長及本
府財務當局に於ては立法の主意が狭義のも
のなりは狭義に解し越江耕作により少量
の物資に對し之のみ適用致す事に第一致
致したる模様有之當所に於ても其の趣
旨に基き取扱致す様指示を相受け候條今
後は先般貴會より送付を受けたる為帳
に基き朝鮮側二里以内の地に住居を有し
貴地方二里以内の地に於て自ら收穫製産し
自から輸入致すも一限り(朝鮮側及對岸二里以
内兩地に居所を有し往復耕作致すものも含む)貴會

の証明を参考資料と致し認定致す様取扱ひ
致度從て支那人及其の他鮮内御各地より永久
的に貴地方へ移住致したる者の分は對しては
認定分不能に有之候條右御了知の上今後の
分を御處理相本度願上候但し既に證明済の
分に對しては從前通り取扱ひ可致候條申
添候

當所と致し今日迄相當に廣義に解し
取扱ひ致し居り候事とて取扱区々に相入り具
合も惠しく候へ共上司の御意向は候へ日不
得止次第に有之候舊正月を以て一段落着き
たる時として時機好都合と存せし候條此の拙書
御引見と同時に速刻御勵行相成度申進候

餘は何れ後便にて萬々可申上先は亂筆にて
右要々のみ斯如に御座候

敬具

外務省文書課
第137號
15.5.6

門類
3
14
3
項目
3

通商局
第二課長

支圖
機密第一二六號

館分春輝館事領總日島間在

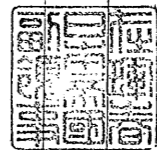
通商局 第一課

機密第一二六號

天正十五年四月二十八日

在輝春

分館主任 田中作



外務大臣 幣原喜重郎 殿

陸境國境隣接区域内ノ收穫物
又ハ生産品鮮肉輸入税免除取
扱方變更ニ関スル件

本件ニ関シ三月一日附機密第五四號及
向六六號ヲ以テ及報告置タル後其後
鮮人民會及輸出業者ヨリ累次事情ヲ

機密第一二六號
B 12 25

館分春輝館事領總日島間在

開陳シ從來通り商義的取扱ニ復歸交
渉方願出アリ依テ本官ハ對岸朝鮮税関
カ今回遠ニ其ノ取扱根リヲ變更スルニ
至レルハ要スルニ生産品ニ對スル認定ヲ
嚴密ナラシメントスルニ外ナラサルハキモ現在
ノ如キ取扱根リハ法規ノ適用上遺憾トスル
點アリ斯クテハ當地ノ各方面ニ及ホス
影響鮮カラサルモアリト認ムルヲ以テ此
際美當リ農民ノ輸出ヲ急クモニ對シ
テハ總督府當局トノ交渉何分決定ヲ
見ル迄從前通り鮮人民會ノ証明書
其他認定資料ニ依リ免税ノ取扱ヲ為ス
様總督府當局ヨリ龍堂税関ニ至急訓電

在間島日本總領事館春分館

方取計ハレ度ナ有在間島總領事一申入レ
一方本館ハ對岸朝鮮御税関ニ對シ
便宜供與方交渉中ナリ右報告ス

通商司第一課

機密第二四八號

大正十五年七月十九日

鐵込名

在運春

分館主任 田中

作

大正十五年八月拾



外務大臣男爵 幣原 喜重郎 殿

陸接國境隣接地域二里以内ノ收獲物又ハ生産品
朝鮮輸入税免除方ニ關スル件

本件ニ關シ本年三月一日附機密第五四號同月十二日機密第六六號
四月二十八日附機密第一二六號及五月十一日附機密第一五〇號ヲ
以テ報告置ノ次第有之處本件ノ解決如何ハ當方面ニ於ケル輸出貿
易上影響鮮カラサルヲ以テ其ノ後對岸朝鮮側税關ト累次接洽スル

在間島日本總領事館春分館

門 3
類 14
項 3
外務省文書課
受第 267
15.8.3

附屬書類

一方間島總領事ヨリ仁川稅關長ト交渉シ尙當地鮮人民會長ヲシテ
總督府當局ニ團體的陳情ヲナサシムル等種々措置ノ結果今回左記
方法ニ依リ從來通り免稅スルコトニ決定致シタル次第ニ付右ニ御
了知相成度此段報告ス

記

- (一) 免稅地域内ノ農作物作付調査ノ爲メ國境附近所在領事館警察機
關ニ於テ當該地朝鮮人民會役員會同シ毎年植付ニ際シ現場ニ付
確實ニ調査ヲ行ヒ別紙様式ニ依ル調査書ヲ作成シ輸出地稅關出
張所ニ夫々通報スルコト
- (二) 前項ノ調査書ニ基キ當該朝鮮人民會ニ於テ免稅地域内住民ヨリ
輸出證明方申請ヲ受ケタル都度調査書相當欄ニ民會ノ證印押捺

在間島日本總領事館瑠春分館

ト共ニ關係警察機關ニ於テモ之ニ檢印ヲ爲スコト

在間島日本總領事館瑠春分館

